



ポフラ

館林市立第二小学校 学校だより 第8号
令和8年6月18日 (TEL 72-4472)

かしこく
たくましく
心ゆたかに

つつじの子房摘み活動

6月16日(火)に各学年が1時間ずつ、校舎北側のつつじの子房摘みをしました。当日の朝の時間に、園芸委員が各クラスに行って写真を用いながら子房の摘み方を説明しました。子房を摘む理由として、子房が残っていると子房に養分がとられ、翌年の花の咲き具合が悪くなるということも分かりやすく伝えていました。



市の花が「ヤマツツジ」であることや、全国的なつつじの名所「つつじが岡公園」が近隣にあることに関連づけ、つつじにまつわる伝説とともに地域への関心を高め、郷土を大切にする態度を育んでいきたい思います。

マラソンタイム頑張っています

5月8日(金)から火・水・金曜日の、20分休み最後の5分間(10時35分から10時40分)にマラソンタイムを位置づけ、定期的に運動することで児童の体力向上と健康の保持増進を図っています。火曜日は1・3・5年生、水曜日は2・4・6年生、金曜日は4・5・6年生が取り組んでいます。スタート1分前には、高学年が準備運動を始め、見本を示してくれています。7、9月は熱中症の危険があるため実施しませんので、1学期残りわずかの実施回数となりますが、自分のペースでアップテンポな曲に乗りながら楽しく取り組んでいきたいと思っています。



図書委員さんの紙芝居の読み聞かせ



6月9日(火)、11日(木)、17日(水)に図書委員が1,2年生を対象にした紙芝居の読み聞かせを昼休みにしてくれました。梅雨時のため校庭で遊べなくても、充実した休み時間となりました。図書委員は、事前によく練習していて感情を込めて読んでいたため、聞いていると物語のなかに引き込まれていきました。読み終えた後も、1,2年生は大喜びで、教室に戻る時も図書委員に大きく手を振って嬉しさを伝えていました。見ていて微笑ましい一時となりました。

授業の様子 紹介します 6年竹組「国語」

6月12日(金)の2校時の授業の様子です。短歌の最後の授業でした。子どもたちは、前時まで、短歌は(五・七・五・七・七)の31音でできていることを確かめ、題材として生活の中にある「たのしみ」を探し、その時の様子や気持ちを取り上げていました。短歌の形として、「たのしみは」で始まり、最後は「～時」とする共通の形で一人一人が表現していました。自分で作った短歌を見直した後、「たのしみ」を感じた場面の切り取り方やそれを伝える言葉の使い方などで工夫している点についてグループで交流していききました。そしてグループで一番よい作品を選びクラス全体で共有しました。よさを見つけ合う視点で感想を伝え合ったので、一人一人が自信をもち、嬉しそうでした。作品は廊下に掲示しました。



6年松組「社会」

6月11日(木)の6校時の授業の様子です。歴史の学習でした。子どもたちが、仁徳天皇陵の大きさをイメージできるよう、教科担当はテレビの画面上に二小周辺の地図を映し出し、そこに仁徳天皇陵の大きさを重ねていききました。おおよそ松原から新宿までがすっぽり入り、子どもたちはその大きさに驚いていました。そして、そのような大きなものを造るには、どのような社会の変化が起こったからなのか、子どもたちは疑問をもったようです。その謎を解くために、今後、縄文時代や弥生時代について調べていきます。歴史について興味が分かれる傾向があるなかで、子どもたちが、できるだけ実感をもち、歴史に興味をもてるような提示資料の工夫がありました。



算数チャレンジ問題、挑戦してみませんか？

3階の廊下に、算数のチャレンジ問題が掲示してあります。「なぜだろう?」「なるほど!」といった算数の楽しさやよさに気付くきっかけとなるよう、関口先生が問題を選んでいきます。たし算ができれば解ける問題もあり、その解き方も何通りもあります。学年を問わず考え方が問われるため、5年生だけでなく、4～6年生の関心をもった子どもが挑戦しています。気軽に挑戦することで、考える楽しさを知るきっかけとなれば嬉しいです。

